

目標達成計画

事業所名 グループホーム 集い

作成日: 平成25年 5月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	6	現状での入居者との兼ね合いをふまえ、正面玄関が内側から開かない事について、帰宅願望や外出願望の入居者に対する接し方。	集いででの生活を続けて行くことについて、慣れ親しんでもらう。 (自動ドアをオープンにすることは、現時点では難しいが自由に出入り出来る事が理想。)	役割をもってもらい、集いででの生活に生きがいを見つけてもらう。 1. だいたい事は出来る方なので、趣味でもある畑仕事の出来る場を用意する。花作りも同じ。 午後4時位から不穏になり始める事が多い為、この時間帯に畑仕事(花作り)を職員と一緒に、本人から教えてもらいながら行う。(この際、熱中症や脱水症に注意する。) 2. 買い物等で外出をする。 3. 不意に出られた場合には、出来るだけ本人の意向を受け入れ同行するが、これまでの経緯で、1時間位は平気で歩かれるので、気が静まるように話し掛け、穏やかになった頃に、施設方向にコースを変える。(この際、飲み物等を携帯する。) 4. 上記対策を上手く進める為に、日頃から本人の好む話題や、幼い頃からの生活状況を職員の共通認識として理解しておく。 5. 家族の協力が、現時点では得られないが、少しからでも協力が得られる様に試みる。	6~12 か月	
2	10	家族との関係を大切にしながら、入居者や家族の率直な意見や要望を引き出し、運営に反映したい。	家族との信頼関係の構築(家族との接点の場を設ける)	・面会にあまり来られない家族には、お誕生日会等の行事に参加してもらえるようにお知らせする。 ・面会時を含め、定期的に近況の報告を行い、家族との理解を深める。	6 か月	
3	35	避難訓練について、無理の無い範囲で入居者に参加してもらって訓練を実施する事が望まれる。 非常口の段差を解消する等、訓練を通して課題と対策に取り組む。	無理の無い入居者の参加での避難訓練。	・年2回の避難訓練であるが、入居者の体調等を見ながら訓練に参加して頂く。 ・入居者一人ひとりの歩行状態等の運動機能を把握し、入居者のそれぞれに合った避難方法を理解しておく。 ・避難経路は、一つだけでなく二つ以上の経路を用意しておく。 ・入居者名簿を作成しておき、消防隊員に情報の提供が出来るようにしておく。	6~12 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
			②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
			③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他(②で、玄関入口に掲示した。)
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			⑤その他()